

## 印刷方法について

※本ページ(表紙)は印刷不要です。

次ページ以降は

A4サイズ・両面印刷(長辺とじ)

での印刷をお願いいたします。

公認心理師受験資格に係る履修科目証明書

年 月 日

上越教育大学長 殿

大学等名

証明者〔機関長（学長、学部長）〕

（職名）

（氏名）

印

（職印）

下記の者は、所属学部において、公認心理師受験資格に必要な科目を取得済み（取得見込み）であることを下記のとおり、証明いたします。

記

氏 名 \_\_\_\_\_

所属学部・学科等 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日生

No.	公認心理師受験資格のために必要な科目名	志願者の出身学部での対応科目名	志願者の単位取得状況
①	公認心理師の職責		
②	関係行政論		
<b>I. 心理学基礎科目：</b>			
②～⑥のうち、3科目以上相当を修めていること			
②	心理学概論		
③	臨床心理学概論		
④	心理学研究法		
⑤	心理学統計法		
⑥	心理学実験		
<b>II. 心理学の基本的理論に関する科目：</b>			
⑦～⑬のうち、4科目以上相当を修めていること			
⑦	知覚・認知心理学		
⑧	学習・言語心理学		
⑨	感情・人格心理学		
⑩	神経・生理心理学		
⑪	社会・集団・家族心理学		
⑫	発達心理学		
⑬	障害者・障害児心理学		

No.	公認心理師受験資格のために必要な科目名	志願者の出身学部での対応科目名	志願者の単位取得状況
<b>Ⅲ. 心理状態の観察及び分析並びに心理に関する相談、助言、指導その他の援助等についての基本的理論及び実践に関する科目：</b> <b>⑭、⑮、⑳、㉑のうち、2科目以上相当を修めていること</b>			
⑭	心理的アセスメント		
⑮	心理学的支援法		
⑳	心理演習		
㉑	心理実習		
<b>Ⅳ. 主な職域における心理学に関する科目：</b> <b>⑰～㉒のうち、2科目以上相当を修めていること（ただし、⑰を心理学関連科目（Ⅴ）として修める場合、主な職域における心理学に関する科目（Ⅳ）とし⑰～㉒から2科目以上相当を修めていること）</b>			
⑰	健康・医療心理学		
⑱	福祉心理学		
⑲	教育・学校心理学		
⑳	司法・犯罪心理学		
㉑	産業・組織心理学		
<b>Ⅴ. 心理学関連科目：</b> <b>㉓又は㉔に相当する科目を修めていること（⑰に相当する科目を修めた場合も可）</b>			
㉓	人体の構造と機能及び疾病		
㉔	精神疾患とその治療		

(注1) 本証明書は、上越教育大学大学院学校教育研究科の入学選抜における出願書類等の一つであり、公認心理師法附則第2条第1項第3号の特例により公認心理師受験資格の取得を希望する志願者用の様式です。

(注2) 出身学部での対応科目名を必ず記載してください。なお、志願者が単位の取得を予定していない科目名に関しては記載する必要はありません。

(注3) 志願者が該当する対応科目の単位を取得済みである場合には「取得済」、履修中である場合には「履修中」、当該年度内に履修予定である場合には「履修予定」と記載してください。

(注4) No.①と②の科目については、記入不要です。

以上

公認心理師受験資格に係る履修科目証明書

年 月 日

上越教育大学長 殿

大学等名

証明者〔機関長（学長、学部長）〕

（職名）

（氏名）

印

（職印）

下記の者は、所属学部において、公認心理師受験資格に必要な科目を取得済み（取得見込み）であることを下記のとおり、証明いたします。

記

氏 名 \_\_\_\_\_

所属学部・学科等 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日生

No.	公認心理師受験資格のために必要な科目名	志願者の出身学部での対応科目名	志願者の単位取得状況
①	公認心理師の職責		
②	心理学概論		
③	臨床心理学概論		
④	心理学研究法		
⑤	心理学統計法		
⑥	心理学実験		
⑦	知覚・認知心理学		
⑧	学習・言語心理学		
⑨	感情・人格心理学		
⑩	神経・生理心理学		
⑪	社会・集団・家族心理学		
⑫	発達心理学		
⑬	障害者・障害児心理学		

No.	公認心理師受験資格のために 必要な科目名	志願者の出身学部での対応 科目名	志願者の単位 取得状況
⑭	心理的アセスメント		
⑮	心理学的支援法		
⑯	健康・医療心理学		
⑰	福祉心理学		
⑱	教育・学校心理学		
⑲	司法・犯罪心理学		
⑳	産業・組織心理学		
㉑	人体の構造と機能及び疾病		
㉒	精神疾患とその治療		
㉓	関係行政論		
㉔	心理演習		
㉕	心理実習		

- (注1) 本証明書は、上越教育大学大学院学校教育研究科の入学者選抜における出願書類等の一つであり、公認心理師法第7条第1項第1号の規定により公認心理師受験資格の取得を希望する志願者用の様式です。
- (注2) 出身学部での対応科目名を必ず記載のうえ、全ての科目について証明を受けてください。
- (注3) 志願者が該当する対応科目の単位を取得済みである場合には「取得済」、履修中である場合には「履修中」、当該年度内に履修予定である場合には「履修予定」と記載してください。

以上

## 入学希望等調書（第1志望）

上越教育大学大学院学校教育研究科

受験番号

※

フリガナ		生年月日	年	月	日生
氏名					

## 1. 志望専攻・コース等

第1志望	教育実践高度化	専攻	領域（	コース
第2志望		専攻	領域（	コース
				分野）
				分野）

## 2. 志望動機及びこれまでの取り組みに関わること

志望動機（教職や教育実践について入学後に取り組みたい実践的課題や身に付けたい力等を含む）

これまでの教育実践や研究で取り組んできたこと

- （注）
1. 所定の欄の中に収まるように記入してください。また、別紙等を添付しないでください。
  2. ※印欄は記入しないでください。
  3. 次ページも記入してください。

フリガナ		受験番号	※
氏名			

3. 所有する(取得見込みの)教育職員免許状の種類及び取得(見込み)年月日

所有する(取得見込みの)教育職員免許状の種類	取得(見込み)年月日		
	年	月	日
	年	月	日
	年	月	日
	年	月	日

4. 研究・研修歴等(年月順に記入してください。)

年月	内 容
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

5. 所属学会・研究会等

--

6. 学歴

年月	学 校 名
年 月	高等学校卒業
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

- ・ 大学等については、学部、学科、専攻名まで記入してください。
- ・ 外国において学校教育を受けた者は、初等教育(小学校)からの学歴について、国名と学校名を「入学年月」と「卒業年月」に分けて記入してください。

7. 職歴

在 職 期 間		勤 務 先 ・ 職 名	在職年月数
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
計			年 月

左のうち  
初等中等  
教育教員  
として勤  
務した  
在職年月数

## 入学希望等調書（第2志望）

上越教育大学大学院学校教育研究科

受験番号

※

フリガナ		生年月日	年	月	日生
氏名					

## 1. 志望専攻・コース等

第1志望	専攻	領域（	コース 分野）
第2志望	教育実践高度化 専攻	領域（	コース 分野）

## 2. 志望動機及びこれまでの取り組みに関わること

志望動機（教職や教育実践について入学後に取り組みたい実践的課題や身に付けたい力等を含む）

これまでの教育実践や研究で取り組んできたこと

- （注）
1. 所定の欄の中に収まるように記入してください。また、別紙等を添付しないでください。
  2. ※印欄は記入しないでください。
  3. 次ページも記入してください。

フリガナ		受験番号	※
氏名			

3. 所有する(取得見込みの)教育職員免許状の種類及び取得(見込み)年月日

所有する(取得見込みの)教育職員免許状の種類	取得(見込み)年月日		
	年	月	日
	年	月	日
	年	月	日
	年	月	日

4. 研究・研修歴等(年月順に記入してください。)

年月	内 容
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

5. 所属学会・研究会等

--

6. 学歴

年月	学 校 名
年 月	高等学校卒業
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

- ・ 大学等については、学部、学科、専攻名まで記入してください。
- ・ 外国において学校教育を受けた者は、初等教育(小学校)からの学歴について、国名と学校名を「入学年月」と「卒業年月」に分けて記入してください。

7. 職歴

在 職 期 間		勤 務 先 ・ 職 名	在職年月数
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
年 月	年 月		年 月
計			年 月

左のうち  
初等中等  
教育教員  
として勤  
務した  
在職年月数

## 研究希望等調書（第1志望）

上越教育大学大学院学校教育研究科

受験番号

※

フリガナ		生年月日	年	月	日生
氏名					

## 1. 所有する（取得見込みの）教育職員免許状の種類及び取得（見込み）年月日

所有する（取得見込みの）教育職員免許状の種類	取得（見込み）年月日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日

## 2. 入学後の研究希望

志望専攻・コース等 第1志望	教育支援高度化 専攻 心理臨床研究 コース ( )
研究課題	
研究内容	
第2志望 教育実践高度化 専攻	コース 領域 ( 分野)

- (注) 1. 所定の欄の中に収まるように記入してください。また、別紙等を添付しないでください。  
2. ※印欄は記入しないでください。  
3. 次ページも記入してください。

フリガナ		受験番号	※
氏名			

3. 卒業論文・卒業研究（提出予定を含む）

年月	内容
年 月	
年 月	
年 月	

4. 研究・研修（年月順に記入してください。）

年月	内容
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

5. 所属学会・研究会等

--

6. 学歴

年月	学校名
年 月	高等学校卒業
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

- ・ 大学等については、学部、学科、専攻名まで記入してください。
- ・ 外国において学校教育を受けた者は、初等教育（小学校）からの学歴について、国名と学校名を「入学年月」と「卒業年月」に分けて記入してください。

7. 職歴

在職期間	勤務先・職名	在職年月数
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
計		年 月

左のうち  
初等中等  
教育教員  
として勤  
務した  
在職年月数

## 研究希望等調書（第2志望）

上越教育大学大学院学校教育研究科

受験番号

※

フリガナ		生年月日	年	月	日生
氏名					

## 1. 所有する（取得見込みの）教育職員免許状の種類及び取得（見込み）年月日

所有する（取得見込みの）教育職員免許状の種類	取得（見込み）年月日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日

## 2. 入学後の研究希望

志望専攻・コース等 第2志望	教育支援高度化 専攻 心理臨床研究 コース ( )
研究課題	
研究内容	
第1志望 教育実践高度化 専攻	コース 領域 ( ) 分野)

- (注) 1. 所定の欄の中に収まるように記入してください。また、別紙等を添付しないでください。  
2. ※印欄は記入しないでください。  
3. 次ページも記入してください。

フリガナ		受験番号	※
氏名			

3. 卒業論文・卒業研究（提出予定を含む）

年月	内容
年 月	
年 月	
年 月	

4. 研究・研修（年月順に記入してください。）

年月	内容
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

5. 所属学会・研究会等

--

6. 学歴

年月	学校名
年 月	高等学校卒業
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

- ・ 大学等については、学部、学科、専攻名まで記入してください。
- ・ 外国において学校教育を受けた者は、初等教育（小学校）からの学歴について、国名と学校名を「入学年月」と「卒業年月」に分けて記入してください。

7. 職歴

在職期間	勤務先・職名	在職年月数
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
年 月～年 月		年 月
計		年 月

左のうち  
初等中等  
教育教員  
として勤  
務した  
在職年月数

## 所属長同意書

年 月 日

上越教育大学長 殿

所属長（校長等）

学 校 名

職名・氏名



(職印)

上越教育大学大学院専門職学位課程に出願予定の下記の者が、「遠隔教育活用修学プログラム」へ申請するに当たり、所属校に勤務しながら「遠隔教育活用修学プログラム」を履修することについて同意します。

### 記

出 願 予 定 者 氏 名 : \_\_\_\_\_

所属長（校長等）様へ

同意に当たっては、以下の点及び裏面記載の【参考】遠隔教育活用修学プログラム（専門職学位課程）をご確認くださいようお願いいたします。

●学校実習（学校支援フィールドワーク）実施に係るお願い

学校実習は、勤務校等の協力を得ながら、本学の指導教員（アドバイザー）による指導の下、2年次以降に勤務校等において実施することになっています。学校実習を実施する際には、勤務時間と学校実習の時間を重ねることはできません。学校実習は、勤務時間外の時間に教育評価、データ収集、分析などを行うことに加えて、放課後等に職務専念義務の免除を活用して行うことも考えられます。

在学中に履修者から、本学所定様式の「学校支援プロジェクト計画書」に基づき説明や相談がありましたら、勤務校での実習時間が確保できるよう、ご配慮いただきますようお願いいたします。

●専門職学位課程の実習科目により修得する単位の免除について

修了の要件単位のうち実習科目については、申請時において「幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び幼保連携型認定こども園」の教員としての実務の経験を10年以上有している等の条件を満たす者は、審査により実習科目で修得する10単位（300時間）のうち6単位（180時間）が免除されます。

申請には、「在職期間証明書」及び「主任等としての在職期間・職務内容に関する証明書」が必要となりますので、履修者から免除申請書類の作成依頼がありましたら、発行についてよろしくようお願いいたします。

●遠隔教育活用修学プログラムの紹介について

本学ホームページ内に遠隔教育活用修学プログラムサイトがあり、本プログラムの紹介動画（5分程度）がございます。

【遠隔教育活用修学プログラム紹介アドレス】 <https://www.juen.ac.jp/enkaku/>

**【参考】遠隔教育活用修学プログラム（専門職学位課程）**

- (1) 遠隔教育活用修学プログラムとは  
このプログラムは、現職教員を対象として、居住地を離れることなく、所属校に勤務しながら学ぶことができる遠隔教育を活用したプログラムです。
- (2) 遠隔教育活用修学プログラムの修業年限（長期履修学生制度を利用）  
このプログラムの修業年限は、出願者の履修申請に基づき、3年から5年以内となります。
- (3) 遠隔教育活用修学プログラムを申請できる方  
次の①から③のいずれにも該当する方が対象です。
  - ① 本学大学院専門職学位課程の出願者で、初等中等教育における3年以上（令和9年4月1日現在）の教職経験を有する次の(ア)から(ウ)のいずれかの職にある者
    - (ア) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に定める幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、園長、副校長、副園長、教頭、主幹教諭、指導教諭、主務教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭及び講師（常勤の者に限る。）のいずれかの職
    - (イ) 就学前の子どものに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号）第2条第7項に規定する幼保連携型認定こども園の園長、副園長、教頭、主幹保育教諭、指導保育教諭、主務保育教諭、保育教諭、助保育教諭、主幹養護教諭、主務養護教諭、養護教諭、養護助教諭、主幹栄養教諭、主務栄養教諭、栄養教諭及び講師（保育教諭に準ずる職務に従事するものに限る。）のいずれかの職
    - (ウ) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第2条に規定する教育委員会の管理主事及び指導主事のいずれかの職
 なお、教職経験については次の期間を含みます。
    - ・ 非常勤の職については、勤務形態が常勤の職員と同等である期間
    - ・ 発達支援教育実践研究コース（幼年教育領域）においては、保育所（無認可のものを除く。）又は認定こども園（地方裁量型認定こども園を除く。）での保育経験の期間
    - ・ 発達支援教育実践研究コース（特別支援教育領域）においては、施設・医療機関・教育訓練機関等において障害児・者に関わる支援・指導等に職員（勤務形態が常勤の職員と同等である非常勤の職を含む。）として従事した期間
  - ② 教育職員免許法による幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭、養護教諭及び栄養教諭のいずれかの普通免許状を有する者。ただし、二種免許状を有する者については、入学時において5年以上の教職経験を有するものとする。（教職経験に含む期間は上記①と同様）
  - ③ 所属校等に勤務しながら遠隔教育活用修学プログラムを履修することについて、所属長（校長等）の同意が得られる者
- (4) 遠隔教育活用修学プログラムを履修できる条件
  - ① 在学中も上記(3)①(ア)から(ウ)のいずれかの職にあることが条件です。  
条件を満たさなくなった場合は、遠隔教育活用修学プログラムを続けられなくなり、通学学生（長期履修学生）となります。
  - ② 在学中も上記(3)③を満たすことが条件です。  
所属の変更により、変更後の所属長（校長等）から同意を得られず、条件を満たさなくなった場合は、遠隔教育活用修学プログラムを続けられなくなり、通学学生（長期履修学生）となります。
- (5) 遠隔教育活用修学プログラムの授業の形態及び実施方法
  - ① 授業は、夜間、対面方式の集中（夏季休業などの長期休業を利用したスクーリング）及び不定期（授業担当教員と履修者で日程を調整し、実施日を決定）で行います。
  - ② 夜間及び不定期で行う授業は、オンライン授業を基本とします。
  - ③ 実習科目（学校支援フィールドワーク）は、勤務校等の協力を得ながら、指導教員（アドバイザー）による指導の下で、勤務校等において原則実施します。  
実習は、勤務時間外（放課後等）の時間に教育評価、データ収集、分析などを行うことに加えて、職務専念義務の免除を活用することも考えられます。  
なお、本プログラムを申請した方の経験及び実績が一定の基準を満たす場合は、入学後の申請に基づき、実習科目（10単位：300時間）の一部（6単位：180時間）を免除する制度があります。
- (6) 授業料（年額）  
本学が定めた授業料年額×標準修業年限（2年）÷長期履修期間（3～5年）  
※ 通常の学生2年分の授業料を3～5年間で分割納付することになります。
- (7) 申請方法  
次の①から③の書類に必要事項を記入し、大学院の選抜試験の出願書類に同封し、提出（申請）してください。  
なお、本プログラムの申請のために「長期履修学生申請書」を提出する必要はありません。
  - ①遠隔教育活用修学プログラム履修申請書
  - ②所属長同意書（遠隔教育活用修学プログラム履修申請者）
  - ③在職期間証明書
 ※ 本プログラム申請時の所属が変更になった場合には、新しい所属長による同意書を再度提出してください。
- (8) 申請期間  
前期、中期及び後期の各募集とも、本学大学院の出願期間と同じ期間です。
- (9) 履修可否の選考方法  
大学院専門職学位課程の選抜試験における面接試験の中で選考を実施し、大学院入試の可否判定とともに履修の可否を決定します。
- (10) 履修許可者の発表  
各試験の合格者の発表日と同日  
本プログラムを申請した方については、大学院の合格により本プログラムの履修を許可します。
- (11) その他
  - ① 本プログラムを申請する方については、教育職員免許取得プログラム及び1年制プログラムに申請することはできません。
  - ② 本プログラムの詳細については次の特設ページをご覧ください。  
<https://www.juen.ac.jp/enkaku/>
- (12) 遠隔教育活用修学プログラムについての問い合わせ先  
上越教育大学 教務課教学支援チーム 電話 025-521-3278 E-mail: enkakup@juen.ac.jp

# 在職期間証明書

氏 名 :

生年月日 :                    年            月            日生

在 職 期 間	所 属 ・ 職 名	職 務 内 容
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		

上記のとおり相違ないことを証明します。

年 月 日

所属機関（学校）等の住所及び名称

所属機関（学校）等の長 \_\_\_\_\_ 印

- 注1 常勤又は非常勤（勤務形態が常勤の職員とほぼ同等であるもの）として在職した期間について証明してください。
- 2 人事記録等により前任校等の在職期間等が証明できる場合は、前任校等の期間を含め証明してください。
- 3 「職務内容」欄については、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の在職期間以外の場合に記載してください。
- 4 複数の所属機関（学校）等の証明により、在職期間を合算して所定の期間の証明を行う必要がある場合は、本紙をコピーして使用してください。



# 機 関 長 推 薦 書

年 月 日

上越教育大学長 殿

大学等名 \_\_\_\_\_

推 薦 者 [機関長 (学長、学部長) ]

(職名) \_\_\_\_\_

(氏名) \_\_\_\_\_

印  
(職印)

下記の者は、上越教育大学大学院専門職学位課程又は修士課程進学への強い熱意と入学を志望する専攻・コース (領域・分野) における専門分野に関する優れた成績を有し、さらに人物についても優れていると認められるので、責任をもって推薦いたします。

記

志 願 者 氏 名 \_\_\_\_\_ 所属する学部等 \_\_\_\_\_

第1志望 第2志望 (第1志望又は第2志望にチェックすること)

志望専攻・コース等 \_\_\_\_\_ 専攻 \_\_\_\_\_ コース ( \_\_\_\_\_ )

※ 機関長が推薦できる専攻・コース (領域・分野) は、別紙のとおりです。

※ 第2志望まで志望する場合は、第2志望用も作成が必要です。

【 推薦理由 】

(注1) この推薦書は、上越教育大学大学院専門職学位課程又は修士課程の選抜試験における「機関長 (学長又は学部長) の推薦を受け出願する者に対する専門試験免除制度」に基づくものです。同制度については、別紙「機関長 (学長又は学部長) の推薦を受け出願する者に対する専門試験免除制度」のとおりです。

(注2) 推薦にあたり、専門分野に関する優れた成績とは、専門職学位課程においては成績のほかに実績を含めて良いこととします。また、修士課程においては専門分野を臨床心理学・心理学に限ることとします。

(注3) この推薦書を作成後は、必ず厳封して、志願者に渡してください。



# 志 望 理 由 書

出身大学・学部等 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

第1志望 第2志望 (第1志望又は第2志望にチェックすること)

志望専攻・コース等 \_\_\_\_\_ 専攻 \_\_\_\_\_ コース ( \_\_\_\_\_ )

※ 第2志望まで志望する場合は、第2志望用も作成が必要です。

「これまでに学んだ専門分野の内容を志望するコース等の研究においてどのように活かすか」をテーマに1, 200字程度で記載してください。



# 志 望 理 由 書

氏 名 \_\_\_\_\_

志望専攻・コース等

第1志望 \_\_\_\_\_ 専攻 \_\_\_\_\_ コース ( \_\_\_\_\_ )

第2志望 \_\_\_\_\_ 専攻 \_\_\_\_\_ コース ( \_\_\_\_\_ )

教員採用試験合格先の都道府県等 \_\_\_\_\_ 最終合格年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

又は、採用先の都道府県等 \_\_\_\_\_ 採用年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

所有する（取得見込みの）教育職員免許状の種類及び取得年月日

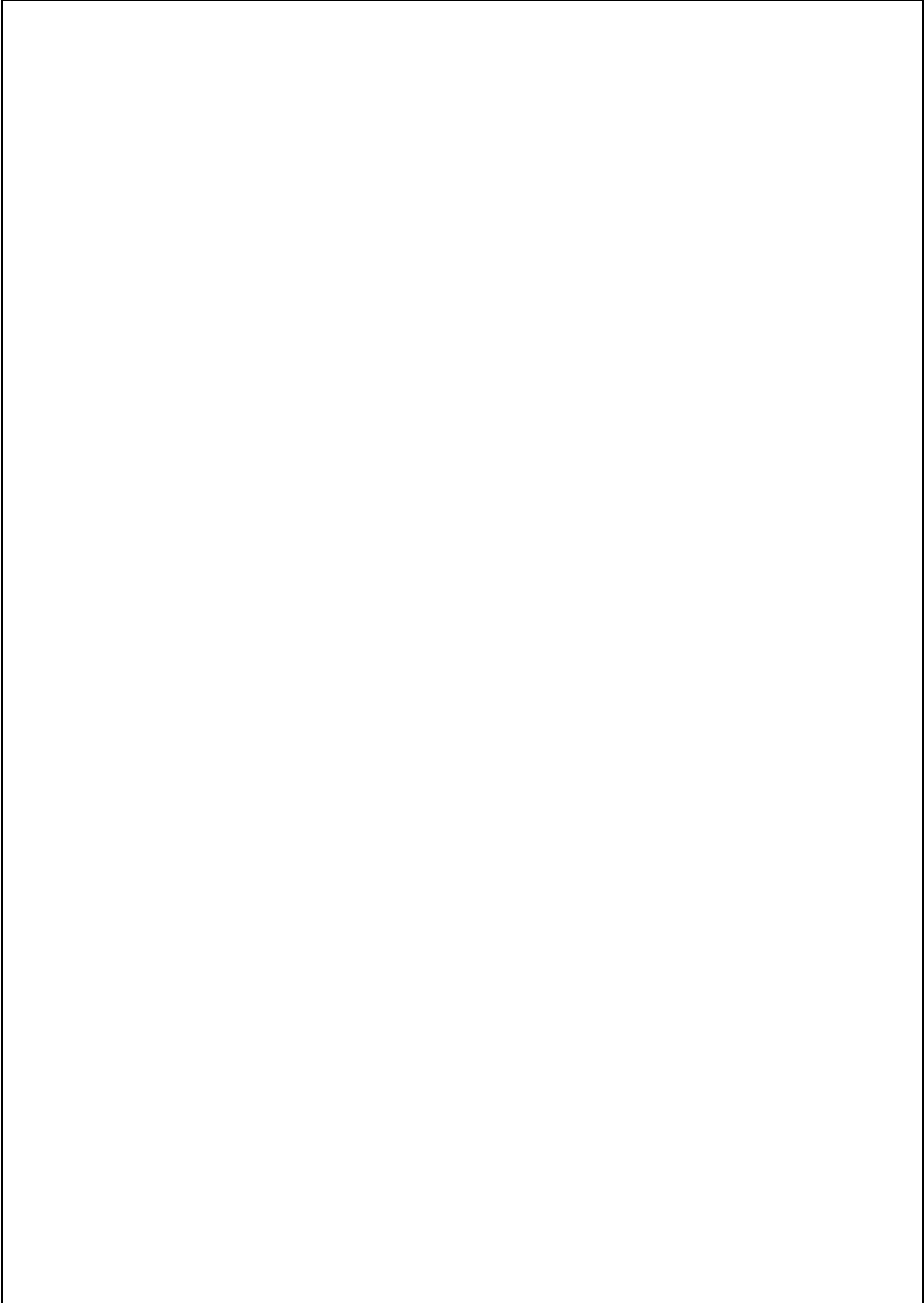
\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

志望理由を1, 200字程度で記載してください。















## 主任等としての在職期間・職務内容に関する証明書

氏 名：

生年月日：

在職期間	所属・主任等の名称	職務内容
年 月 日から 年 月 日まで ( 年 ヶ月)		
年 月 日から 年 月 日まで ( 年 ヶ月)		
年 月 日から 年 月 日まで ( 年 ヶ月)		
年 月 日から 年 月 日まで ( 年 ヶ月)		
年 月 日から 年 月 日まで ( 年 ヶ月)		

上記のとおり相違ないことを証明します。

年 月 日

所属機関（学校）等の住所及び名称

所属機関（学校）等の長

印

- 【注】 1 以下に掲げる主任等として在職した期間及び職務内容について証明してください。
- (1) 教務その他の教育に関する業務についての連絡調整及び指導助言に当たり、教育業務連絡指導手当の支給を受ける主任又はこれに準ずる者
  - (2) 校長、園長、副校長、副園長、教頭、主幹教諭、指導教諭、主務教諭、指導主事、管理主事又はこれに準ずる者
- 2 人事記録等により前任校等に主任等として在職した期間・職務内容が証明できる場合は、前任校等の期間を含め証明してください。
- 3 複数の所属機関(学校)等の証明により、主任等として在職した期間を合算して所定の期間の証明を行う必要がある場合は、本様式をコピーして使用してください。



# 教育実践レポート

氏 名：

所属機関：

※ 教職等の実務経験について振り返り、直面する課題やその背景を考察して、これまでどのような課題にどのように取り組み、どのような知見を得たか、以下の3つの内容を含め、4,000字程度で述べなさい。

- ① 学習指導について
- ② 生徒指導、学級経営等について
- ③ 主任等としての実務について

【注】 1 記載内容を補足する資料等があれば、添付してください。  
2 A4様式4枚以内で作成してください。

# 教育実践レポート

氏 名：

# 教育実践レポート

氏 名：

# 教育実践レポート

氏 名：

# 長期履修学生申請書

年 月 日

ふりがな _____ <input type="checkbox"/> 男 氏 名 _____ <input type="checkbox"/> 女 _____ 年 _____ 月 _____ 日生	※受験番号
現住所 〒 _____ TEL ( _____ )	
志望専攻 ・コース	第1志望 専攻 _____ コース ( _____ ) 第2志望 専攻 _____ コース ( _____ )
申請する 修業年限	<input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年 <input type="checkbox"/> 5年
申請資格（該当する欄に記入）	
<input type="checkbox"/> 主たる生計を維持するため職業に就いている者 勤務先名 _____ 所在地 _____ TEL ( _____ )	
<input type="checkbox"/> 疾病等のため、毎日の通学が困難な者 具体的な内容 _____	
<input type="checkbox"/> その他 具体的な内容 _____	

- (注) 1 該当する事項に記入し、はチェックしてください。  
 2 志望専攻・コースは、上越教育大学大学院学校教育研究科入学志願票に記載した専攻・コース（領域・分野）名を記入してください。  
 3 ※印欄は記入しないでください。



## 誓約書

私は上越教育大学大学院学校教育研究科選抜試験の受験に当たり、以下の1から5までの全ての事項に同意することを誓約します。

1. 試験内容の録音、録画及び外部への流出（SNS、YouTubeなどに試験内容の漏洩）をしないこと。
2. 試験中に部屋からの退出をしないこと。
3. 試験中にPC等の画面から離れないこと。
4. 試験担当者の指示なく、参考書やメモ等の参照、ウェブ検索等をしないこと。
5. 上記項目の1から4までの一部ないし全部が守られないと試験担当教員が判断した場合、不正行為又は受験放棄とみなされ、不合格となること。

誓約日 令和 年 月 日

受験番号※ \_\_\_\_\_

氏名（自署） \_\_\_\_\_

※ 受験番号は、出願受付後に上越教育大学において記入します。



外国人留学生（在留資格が「留学」で教育職員免許状を持たない者）専用

## 入学希望等調書（第1志望）

上越教育大学大学院学校教育研究科

受験番号

※

フリガナ		生年月日	年	月	日生
氏名					

## 1. 志望専攻・コース等

第1志望	教育実践高度化	専攻	領域（	コース 分野）
第2志望		専攻	領域（	コース 分野）

## 2. 教育研究に関わること

志望動機（入学後に探究したい内容や修了後の取り組み等を含む）

これまでの教育研究で取り組んできたこと

- （注）
1. 所定の欄の中に収まるように記入してください。また、別紙等を添付しないでください。
  2. ※印欄は記入しないでください。
  3. 次ページも記入してください。

フリガナ		受験番号	※
氏名			

3. 研究・研修歴等（年月順に記入してください。）

年月	内容
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

4. 所属学会・研究会等

--

5. 学歴

年月	学校名
年 月	高等学校卒業
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

- ・ 大学等については、学部、学科、専攻名まで記入してください。
- ・ 外国において学校教育を受けた者は、初等教育（小学校）からの学歴について、国名と学校名を「入学年月」と「卒業年月」に分けて記入してください。

6. 職歴

在職期間	勤務先・職名	左のうち 初等中等 教育教員 として勤 務した 在職年月数	在職年月数
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
計			年 月

外国人留学生（在留資格が「留学」で教育職員免許状を持たない者）専用

## 入学希望等調書（第2志望）

上越教育大学大学院学校教育研究科

受験番号

※

フリガナ		生年月日	年	月	日生
氏名					

## 1. 志望専攻・コース等

第1志望	専攻	領域（	コース 分野）
第2志望	教育実践高度化 専攻	領域（	コース 分野）

## 2. 教育研究に関わること

志望動機（入学後に探究したい内容や修了後の取り組み等を含む）

これまでの教育研究で取り組んできたこと

- （注）
1. 所定の欄の中に収まるように記入してください。また、別紙等を添付しないでください。
  2. ※印欄は記入しないでください。
  3. 次ページも記入してください。

フリガナ		受験番号	※
氏名			

3. 研究・研修歴等（年月順に記入してください。）

年月	内容
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

4. 所属学会・研究会等

--

5. 学歴

年月	学校名
年 月	高等学校卒業
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

- ・ 大学等については、学部、学科、専攻名まで記入してください。
- ・ 外国において学校教育を受けた者は、初等教育（小学校）からの学歴について、国名と学校名を「入学年月」と「卒業年月」に分けて記入してください。

6. 職歴

在職期間	勤務先・職名	左のうち 初等中等 教育教員 として勤 務した 在職年月数	在職年月数
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
年 月～ 年 月			年 月
計			年 月

## 指導予定教員同意書

年 月 日

上越教育大学長 殿

同意した者  
(指導予定教員) \_\_\_\_\_ 印

下記の出願予定者の上越教育大学大学院専門職学位課程への出願に当たり、出願予定者と事前打合せを行い、入学を許可された際には指導教員となることについて同意します。

記

出願予定者

氏名: \_\_\_\_\_

注 入学志願票を出力した際、「指導予定教員と事前に打合せを行い、同意を得ている（専門職学位課程 外国人留学生（在留資格が「留学」で教育職員免許状を持たない者））」にチェックされていることを併せて確認してください。